

株式会社ジーンテクノサイエンス

2018年3月期 決算説明会

2018年5月16日





会社概要と業績ハイライト



会社概要

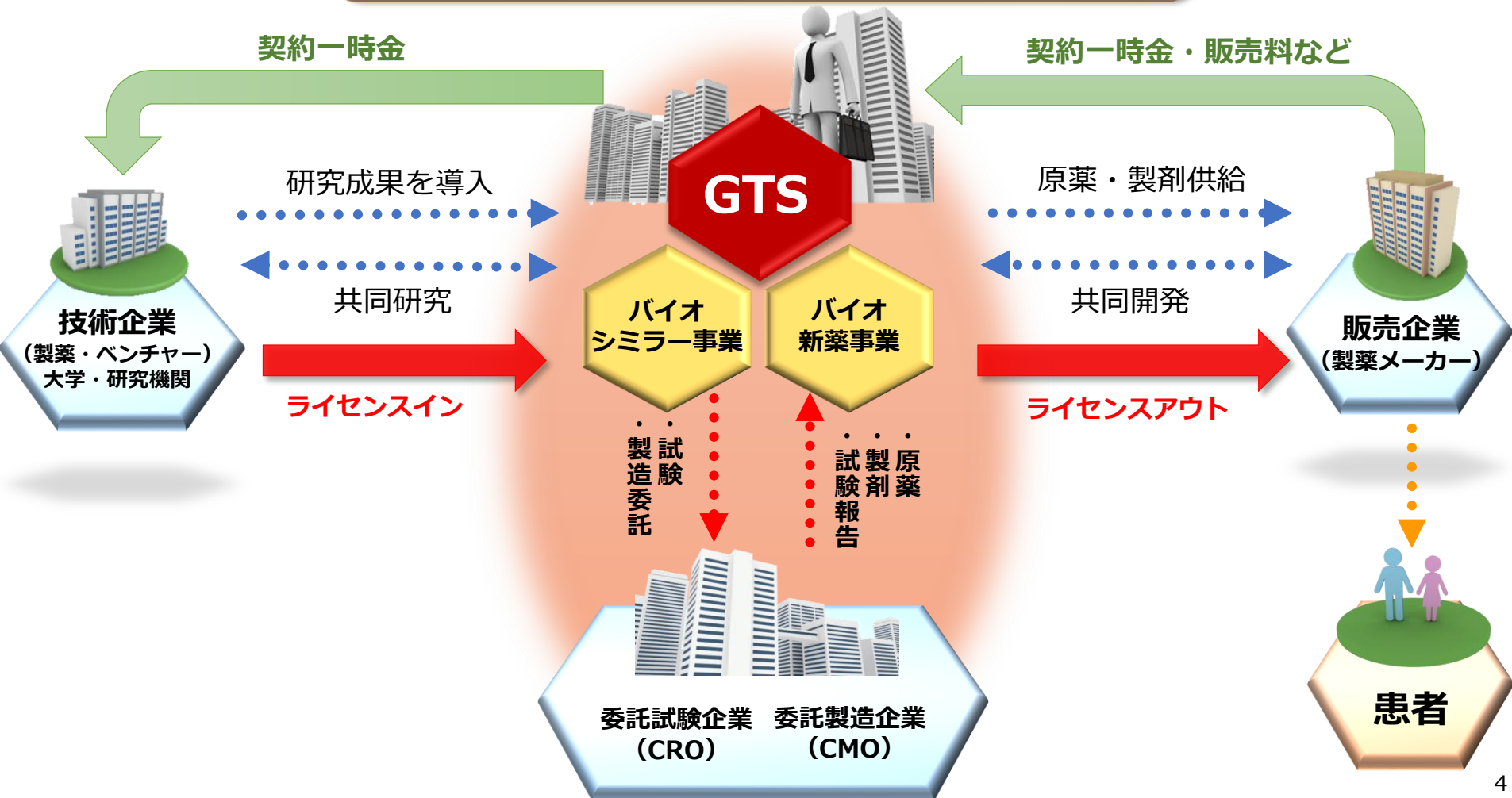
代 表 者	代表取締役社長 谷 匡治（たに まさはる）	
設 立	2001年3月	
上 場	2012年11月（東証マザーズ）	
資 本 金	100百万円（2017年8月1日現在）	
所在地	本 社	札幌市中央区北二条西9丁目1番地
	東京事務所	東京都中央区日本橋二丁目10番8号
	研 究 所	札幌市北区北21条西11丁目 北海道大学創成研究機構生物機能分子研究開発プラットフォーム推進センター内

年 月		事 項
2001年	3月	北海道大学遺伝子病制御研究所の研究成果を診断薬や治療薬にすることを目的として、会社設立
2007年	6月	科研製薬(株)に抗α9インテグリン抗体をライセンスアウト
	10月	富士製薬工業(株)とフィルグラスチム（G-CSF）BSの共同開発契約を締結
2012年	11月	東証マザーズ上場、フィルグラスチムBSの製造販売承認の取得
2013年	5月	フィルグラスチムBSの薬価収載と上市
	8月	バイオシミラー事業において、伊藤忠ケミカルフロンティア(株)と資本業務提携
2014年	1月	(株)三和化学研究所とダルベポエチンαBSの共同開発契約を締結（2016年9月に第Ⅲ相臨床試験開始）
2016年	4月	ノーリツ鋼機グループによる当社普通株式に対する公開買付け並びに資本業務提携契約の締結
	5月	千寿製薬(株)と眼科治療領域のバイオシミラーにおける共同事業化契約を締結（2017年11月に第Ⅲ相臨床試験開始） 長春長生生物科技有限責任会社とバイオシミラーの中国市場における事業化に向けた基本合意書を締結
	10月	(株)日本再生医療（JRM）と心臓内幹細胞を活用した再生医療の事業化に関する資本業務提携を契約
	12月	持田製薬(株)とのがん治療領域のバイオシミラーにおける共同事業化契約を締結
2017年	2月	順天堂大学と免疫寛容誘導に関する共同研究契約を締結
	3月	伊藤忠ケミカルフロンティア(株)と新たなバイオシミラー開発における資本業務提携契約を締結
	6月	北海道に本社を置く企業と共同出資で(株)ミネルヴァメディカの設立、札幌医科大学と同社の間で自己骨髄間葉系幹細胞を用いた糖尿病性腎症に対する治療法の共同研究契約を締結
2018年	4月	ナノキャリア(株)、ノーリツ鋼機(株)、当社の3社間で新規バイオ技術の創出を目的とした資本業務提携契約を締結

事業化に向けた体制

ファブレス型事業体制の特長

- 1) 融通性：プロジェクト毎に最適な協働体制を構築
- 2) 迅速性：プロジェクト開始・計画変更等に迅速に対応
- 3) 投資リスク：製造設備など多額の設備投資を回避



2018年3月期 業績ハイライト

◆ 2018年3月期 通期業績

	売上高 (百万円)	販売費及び一般管理費 合計	内 研究開発費	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円) ※
2018年3月期実績 (A)	1,059	1,550	(1,107)	△913	△903	△904	△94.54
2017年3月期実績 (B)	1,089	1,876	(1,433)	△1,184	△1,176	△1,224	△137.01
増減額 (A - B)	△30	△326	△326	271	273	320	
(参考) 2018年3月期 業績予想値	↑ 1,166		↑ 1,197	△977	△992	↑ △994	

主なポイント

① 安定収益

- ・ フィルグラスチムバイオシミラーは、予想どおりの売上高を達成

② 開発順調

- ・ 研究開発費は主にバイオシミラー事業の推進に支出
(開発は順調に進捗)

③ 実質黒字体制

- ・ 研究開発費を除いた固定費については大きな変動なし
(フィルグラスチムの収益で賄える)

※2016年10月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っておりますが、2017年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

2019年3月期 通期業績予想

◆ 2019年3月期 通期業績予想

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
2019年3月期予想 (A)	1,060	△1,180	△1,180	△1,182	△123.54
2018年3月期実績 (B)	1,059	△913	△903	△904	△94.54
増減額 (A - B)	1	267	277	278	

主なポイント

- ① **売 上** : フィルグラスチムの薬価改定の影響を受けるが、販売量増加により**ほぼ前年並みを維持**
- ② **利 益** : おもに**GBS-007の開発推進**に係る研究開発費の増加
- ③ **研究開発費** : 今期予算は**1,300百万円** (前期は1,107百万円) 主にバイオシミラーの研究開発に充てる

2017年度の事業ハイライト①

バイオミラ-事業

2017年 9月

- GBS-005 (アダリムマブ)
 - ・ 長生バイオと共同事業化中
 - ・ 同社への技術移管完了
 - ・ 中国における上市を目指す

2017年 11月

- GBS-007 (眼科治療領域)
 - ・ 千寿製薬と共同開発中
 - ・ 第Ⅲ相臨床試験開始
 - ・ 海外展開も積極推進



経営基盤

バイオ新薬事業

2017年 9月

- GND-004 (眼科領域、がん)
 - ・ 当社発の新薬候補抗体
 - ・ 新規メカニズムに基づいて新生血管形成を阻害する効果が見込める
 - ・ 特許出願中、今後は導出活動を推進



成長ドライバー

新規事業

2017年 6月

- 骨髄間葉系幹細胞 (糖尿病性腎症)
 - ・ 当社を含めた数社で(株)ミネルヴァメディカを設立
 - ・ 同社と札幌医科大学で共同研究開発契約を締結

2017年 9月

- 免疫寛容誘導 (自己免疫疾患等)
 - ・ 順天堂大学と共同研究中
 - ・ 細胞治療のプラットフォーム構築のため細胞加工の専門企業(株)メディネットと委受託契約を締結
 - ・ 次のステップである臨床試験を目指す



第2弾成長ドライバー

2017年度の事業ハイライト②

2018年4月 ナノキャリア(株)・ノーリツ鋼機(株)・当社の3社間で資本業務提携契約を締結

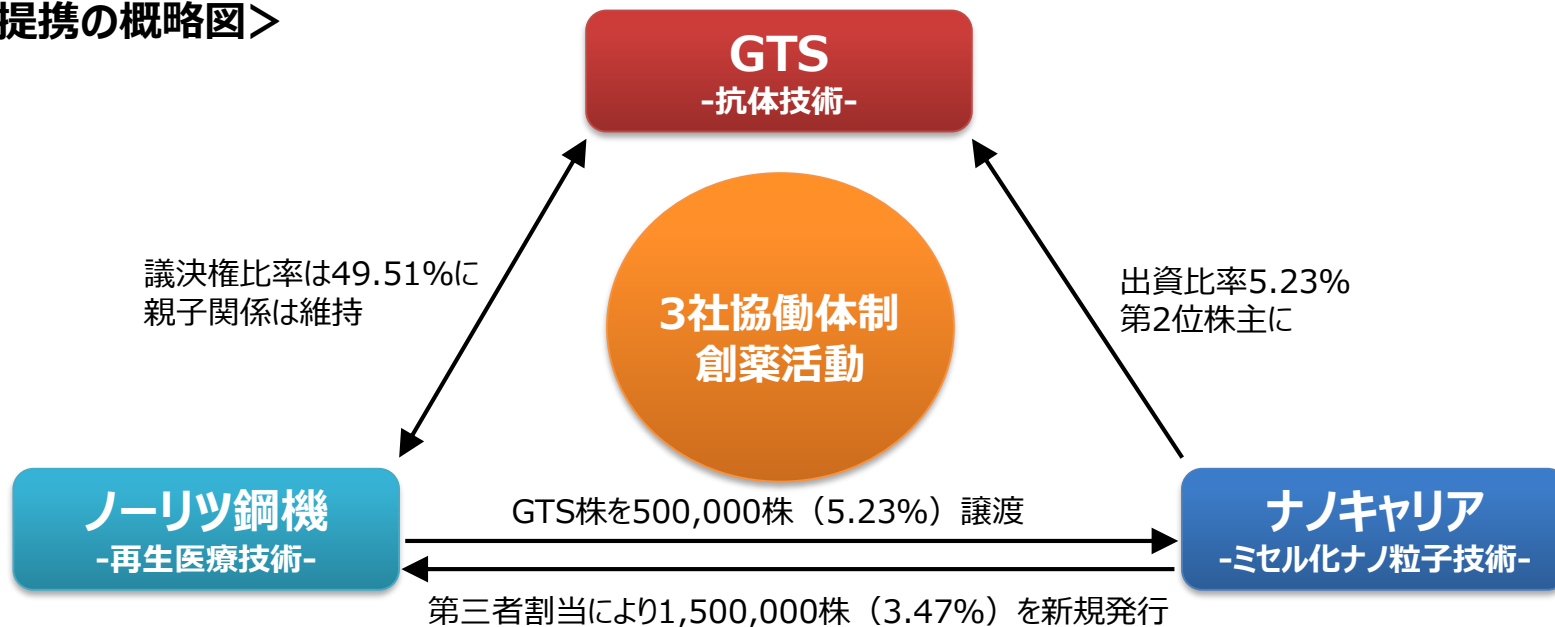
ポイント

- ・ 3社がそれぞれの強みを持ち寄って、新規バイオ技術の創出を目指す
- ・ ナノキャリアはGTS株を、ノーリツはナノキャリア株を取得し、3社が資本関係を構築

<各社の得意分野を融合>

- ナノキャリアは自社特有のミセル化ナノ粒子技術を活用して、低分子、核酸、ペプチド医薬品を封入した抗がん剤を中心に革新的な医薬品の開発を進めている
- ノーリツ鋼機は創薬部門において再生医療事業を推進し、同部門の一翼を担っている当社もバイオシミラー事業で培った抗体技術を活かして、それぞれがグループ内で創薬事業に取り組んでいる

<本提携の概略図>



新任取締役選任

6/28 株主総会決議を経て、経営陣も新体制に移行

－新しい経営陣候補の3名－

谷 匡治 (現 当社代表取締役社長)
新任 野口 亮氏 (現 株式会社日本再生医療 代表取締役)
新任 栄木 憲和氏 (元 バイエル薬品株式会社 代表取締役会長) ※社外取締役



バイオ分野に優れた
知見を持つ取締役の招聘

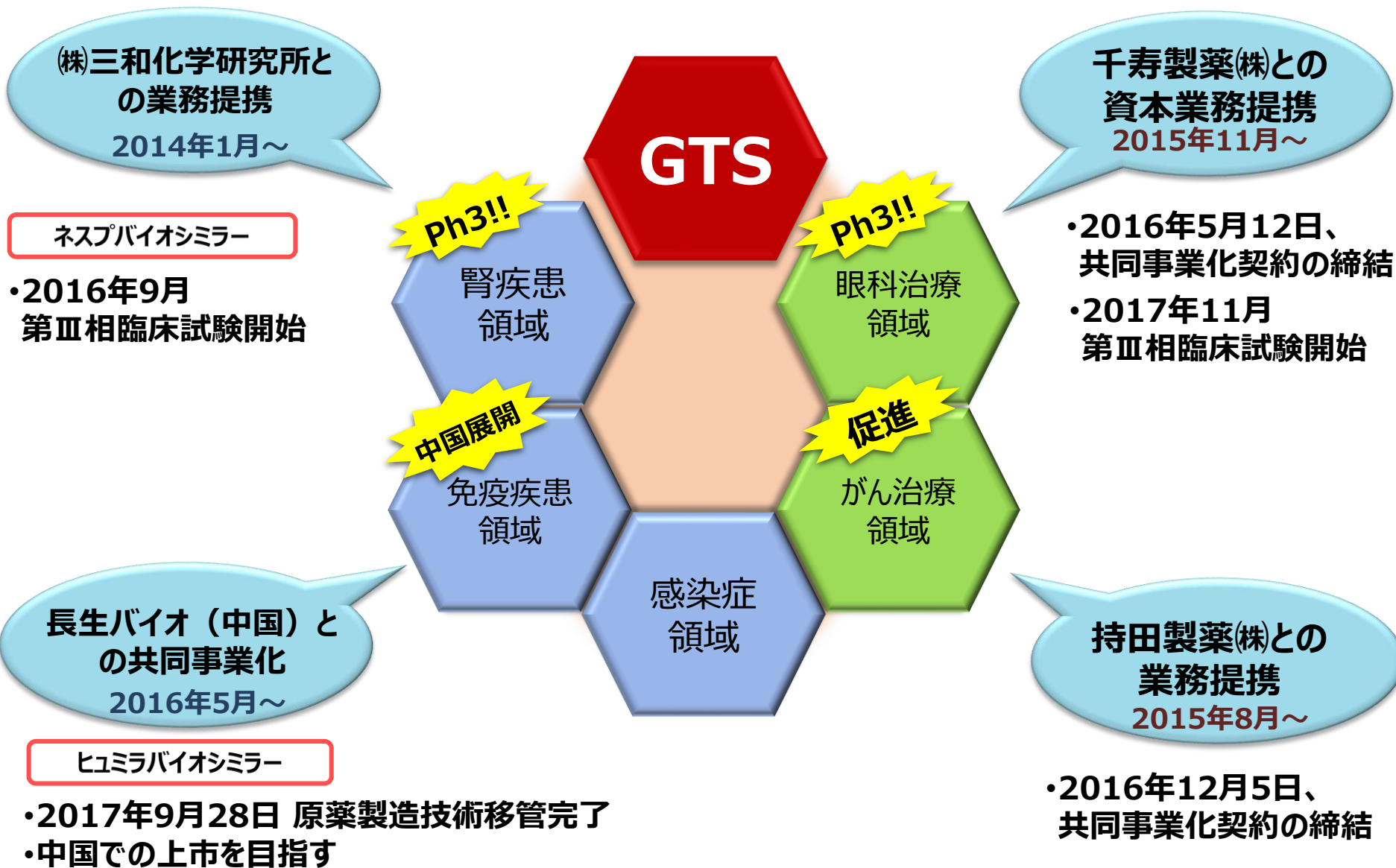
総数4名から3名へ
迅速な経営判断

GTS 1名・ノーリツ鋼機グループから1名・社外取締役1名
経営の透明性の向上とガバナンス体制の強化







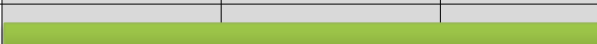


事業進捗

バイオシミラー事業の進展



① バイオシミラー

開発番号	対象疾患	開発研究	臨床試験（治験）		申請・審査 承認・上市	提携先
			第1相	第3相		
GBS-001 フィルグラスチム	がん					富士製薬工業(株) 持田製薬(株)
GBS-004 ペバシズマブ	がん					
GBS-005 アダリムマブ	免疫疾患					長春長生生物科技有限責任公司（中国）
GBS-007	眼疾患					千寿製薬(株)
GBS-008 バリピズマブ	感染症					
GBS-010 ペグフィルグラスチム	がん					
GBS-011 ダルベポエチンアルファ	腎疾患					(株)三和化学研究所

② バイオ新薬

開発番号	対象疾患	基礎研究	開発研究	臨床試験(治験)			申請・審査承認・上市	提携先
				第1相	第2相	第3相		
GND-001 抗ヒトα9インテグリン抗体	免疫疾患、がん							科研製薬(株)
GND-004	眼科疾患、がん							導出活動中
GND-007	免疫疾患							

③ 新規バイオ事業 (再生医療)

開発品	対象領域	基礎研究	臨床試験(治験)	条件・期限付き承認※	市販 (市販後に有効性、更なる安全性を検証)	承認	継続して販売	共同研究企業・大学等
心臓内幹細胞	心機能の改善							(株)日本再生医療
免疫寛容誘導	自己免疫疾患 臓器移植、アレルギー							順天堂大学
骨髄間葉系幹細胞	糖尿病性腎症							札幌医科大学 株式会社ミネルヴァ・メディカ

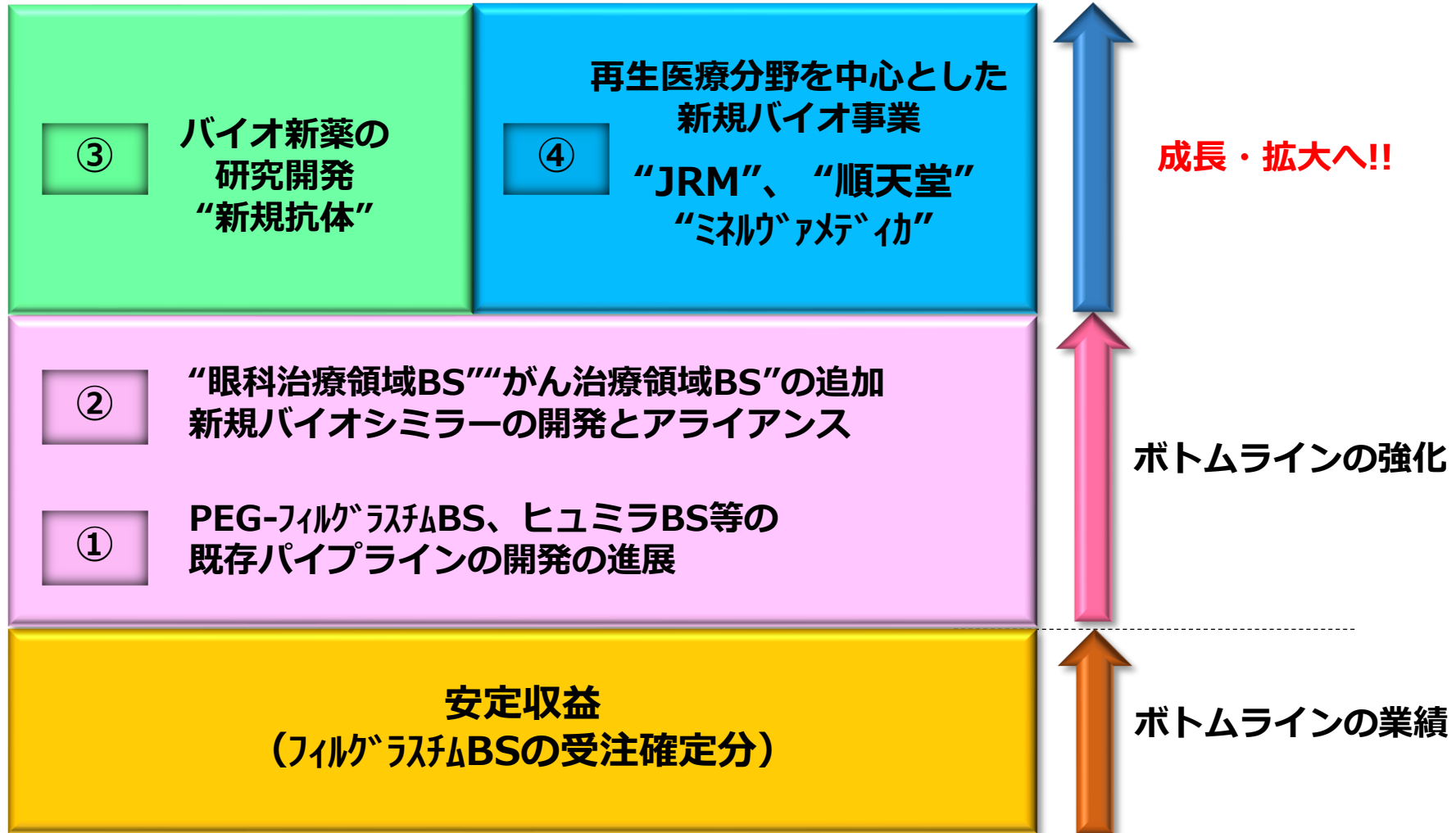
※再生医療等製品の早期実用化に対応した承認制度
患者にリスクを説明・同意を得て、先行して使用し、市販後の安全対策を講じる。



中長期ビジョン

中長期での収益ビジョン

バイオシミラー事業を足場にバイオ新薬、再生医療分野への展開!!





GTSが目指す事業の方向性

-バイオで価値を創造するエンジニアリングカンパニー-

-未だ十分な医療が行き届いていない領域を開拓-

アジア
の疾患

小児疾患

希少疾患

難病

社外

アカデミアの研究活用

バイオベンチャーの技術展開

海外技術の導入

GTS

バイオ医薬品の開発技術

どのような開発にも柔軟に
対応できるファブレス型経営

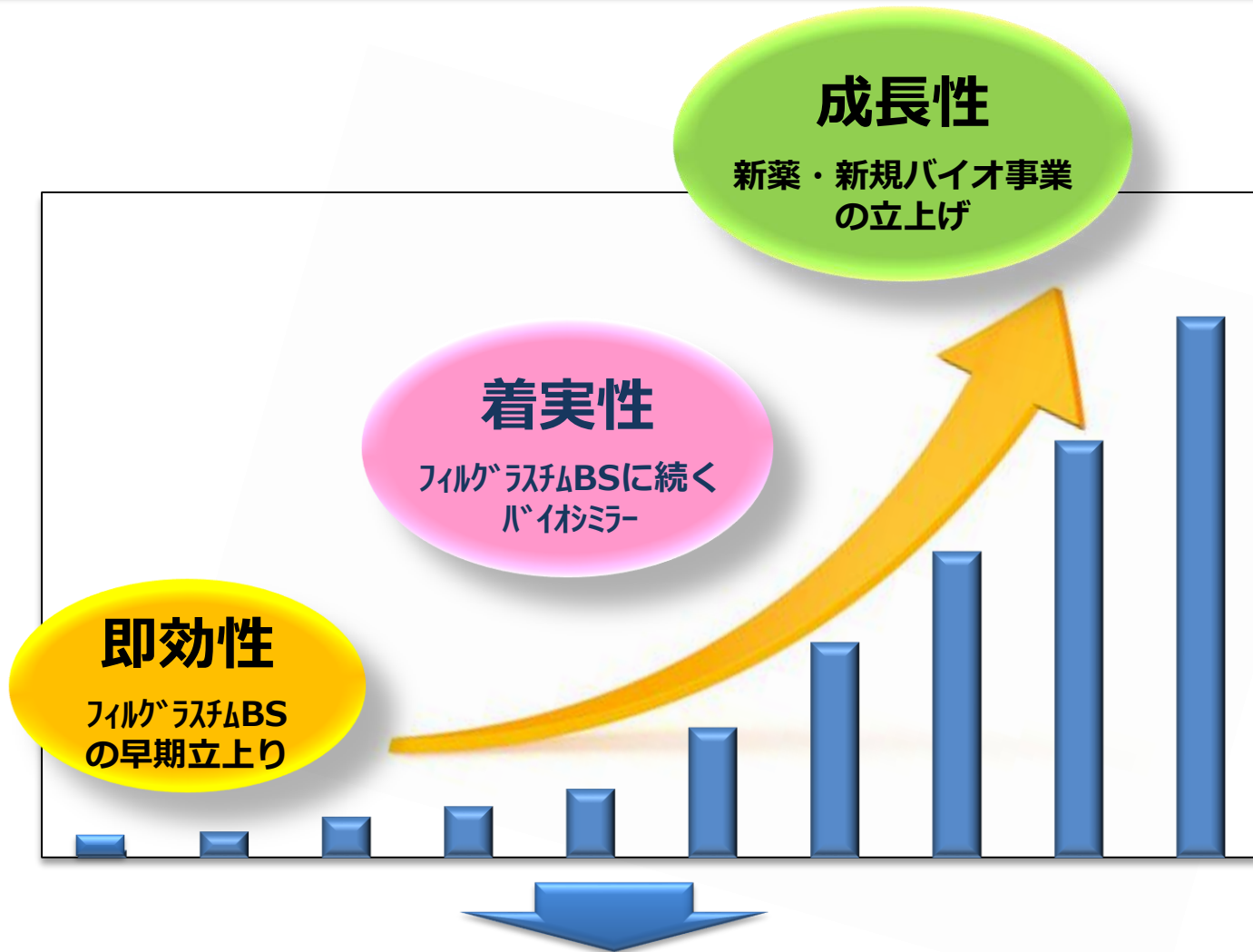
事業創出のアクティビティ

バイオ
新薬

バイオ
シミラー

新規バイオ
事業

収益性と成長性を兼ね備えたバイオベンチャーに！



今後のジーンテクノサイエンスにご注目下さい！



本日はありがとうございました。



ゼロからはじまる、無限の創薬力